

月刊

税理士事務所

CHANNEL

●監修●
ミロク会計人会連合会

2014.1

No.389



タイトル:初日が照らす田沢湖畔のたつこ像
場所:秋田県仙北市

1

- ミロク会計人会連合会 役員 年頭挨拶 ……2
- ミロク情報サービス代表取締役社長 是枝周樹 年頭挨拶 ……5
- 連合会 INFORMATION 「第38回全国統一研修会・広島大会」開催報告 ……6
- ミロクシステムQ&A『ACELINK NX-Pro 法定調書(よくあるお問い合わせ)』 ……15
- リレーエッセイ 東京ミロク会計人会 馬場 英晶 ……19

2014 初春

ミロク会計人会役員 新年の挨拶



ミロク会計人会連合会
会長 平川 忠雄

ミロク会計人会の会員の皆様におかれましては、お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本経済は回復の途上にあり、本年もさらなる回復が続くと見られています。一時伸び悩んだ輸出は、海外経済の緩やかな回復と円安を背景にさらなる増加が期待される見通しであり、国内消費も一部耐久財の消費税率引き上げを控えた需要の増加が見られるなど個人消費の伸びが高まりを見せています。企業収益の改善も堅調に推移しており、設備投資も税制措置などにより想定以上の増加が期待されています。

本年4月の消費税率8%への引き上げを政府が決定したことから、一時的な消費や投資に関する影響が想定されますが、各種の経済的対応措置が同時に発動され、現状を維持向上させる税制等のさらなる特例措置が多様に整備されています。

税制措置の適用関係は、企業個人がその経営活動や消費行動において特例制度等の積極的活用により、経済的効果が増幅するものがあります。税制専門業務に合わせ「経営革新等支援」を行うことが、極めて重要でありその中核に位置する税理士業務の拡大の好機でもあります。

ミロク会計人会もこれらの社会経済の情勢と合致した的確な活動を進めていく方針であり、その具体的事業として、各単位の先生方の関与先企業の経営活動を支援する各種の有効な保険・人材確保、設備投資支援等の展開を株式会社ミロク情報サービスと共に促進することを目指しています。

日本経済の新たな発展の年に当たり、経済社会の中枢に位置する先生方のご活躍とご健勝を心より祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



北海道会会長
井内 敏樹

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本年4月1日より消費税率の税率改定、来年1月1日からの相続税の基礎控除の引下げ等、市民に身近な税金の増税が始まります。納税者に対する説明等について誤りがないように身を引き締めて対応していきたいと思います。

国家とは、国土と国民があつてはじめて成り立つ共同体です。その国民の生命と財産を守り、国土を保全し、社会を維持するための「会費」が税なのでしょう。

東日本大震災では多くの人が被災地に多額の寄付を行いました。これはことさら国民の義務などと言われなくても、公平な課税を行ない、必要などころに適正に配分するという信頼に込める国家であれば、私達は喜んで「会費」を負担するのだ、ということを実証したのだと思います。

我々には、この国家の「会費」である税の申告について独占的な地位が与えられています。我々の業務である会計・決算書作成、申告書作成、税務相談等また、租税教育などを通じて国家と国民を結びつける役割を果たしていければと思っています。



東北会会長
福嶋 朗

明けましておめでとうございます。平成26年の年頭に当たり、謹んでご挨拶申し上げます。

東北地区におきましては、東日本大震災より早3年を迎えようとしております。復興事業は一見遅々として進んでいないように見受けられますが、関係各位、暗中模索ながら懸命の努力を重ねておられると認識しております。

いよいよこの4月からは消費税率増税が実施されます。景気の腰折れを心配する向きもあるようですが、大企業の平成26年3月期決算は史上最高益を更新する企業が数多く予想され、配当増、株価上昇による消費者マインドの改善につながれば、増税による悪影響は最低限に抑えられるものと思います。そのためには法人税減税、規制緩和等の援護射撃も必要となるでしょう。

もちろん我々会計人サイドでは、税率アップによる事務負担増は避けられませんが、MJS様にはより使い勝手の良いソフトを提供していただき、スムーズな業務遂行につなげていきたいと考えております。

東北ミロク会計人会におきましては、地区会活動の活発化ならびにING生命手数料収入のより充実した還元策を実行してまいる所存です。全国各地の会員の先生方のご活躍を祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



関東信越会会長
井上 泰一

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年の暮れの政権交代から一年が経過いたしました。アベノミクスという言葉が連日のように新聞紙上を賑わせ、大企業においては、業績が改善し、株価が上昇し、景気回復が順調に進んでいる反面、私たちが関与している中小企業においては、この恩恵に浴せずまだまだ厳しい状況が続いております。本年4月からは、消費税法の改正により消費税率が8%に、また、来年10月からは10%に段階的に引き上げられることになっております。中小企業にとってこの改正が景気回復のブレーキにならないように願っているところですが、MJSにおかれましては、一昨年の東証1部上場を果たされて以来、安定した業績を維持されておられること、心よりお慶び申し上げます。引き続き、我々会員に対し、優れたシステムとサービスを提供していただけるようお願い申し上げます。

関東信越会では、最重要施策である会員増強と会員のレベルアップに寄与するため、日々の業務に役立つ研修の実施を中心に、会の目的に沿って充実した活動を推進していきたいと思っております。皆様方にとって本年が良い年でありましてご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



東京会会長
馬場 英晶

新年明けましておめでとうございます。ミロク会計人会の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は、戦後2回目のオリンピック・パラリンピック開催国に決まり、本年は本格的な準備が国を挙げて行なわれることとなるでしょう。オリンピック特需により、経済が活発に動き出し、少なからず日本経済の繁栄に繋がる動きが徐々に始まってくる年になっていくと思います。しかし、中小企業に対する経営環境は、依然として厳しい状態がまだしばらくは続いていくことでしょうから、我々会計人は、中小企業経営者より情報を交換していくことがとても重要となります。ミロク会計人会の会員の皆様におかれましては、顧客先の経営者との強い関係を構築し、企業価値の高い会社を築き上げていくことに最大限支援されることと思われまします。昨年盛大に開催されました全国統一研修会・広島大会に出席させていただき、久しぶりにお祭り気分を味わいました。研修内容も大変興味あるもので、参考になりました。そして、アトラクションも地元の方々とのショーなど宴席が盛り上がり、満足させていただきました。



北陸会会長
豆本 義弘

天平宝字2年（西暦758年）正月3日の、宴席において、大伴家持が詠んだ一首。

『初春の初子の今日の玉箒
手に取るからに、揺らく玉の緒』
☆意味 初春の初子の今日、玉箒を取ると、玉が揺れて音を立てます。明けましておめでとうございます。ミロク会計人会の会員の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて前回の『甲午』1954年は、『東洋の奇跡』と言われた、日本の高度成長が始まった年。諸外国にも類をみないほど、急速な経済成長を遂げました。ところで2014年。新しい年『甲午』には、飛ぶ鳥を落とす勢いで走り抜けていきたいものですが、企業も家計も覚悟が必要な年。17年ぶり、2回目の税率引き上げとなる消費税。8%・10%・?%。泣いても騒いでも、もう後戻りはできません。税率は上がります。その上、中小企業を取り巻く経済環境も大きく変化する中、経営者が直面する経営課題も多様化・複雑化してきている状況下で、私達は、経営者の期待に添えるように『研修活動の充実』に力を注ぐとともに、一歩一歩『組織の拡大』に邁進してまいりたいと思っています。



中部会会長
石川 光男

全国ミロク会計人会の諸先生方に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年四月より消費税8%実施を迎えます。『税賠事例』が他税目より多く見受けられる消費税ですが、三点が注視でしょうか。第一に『転嫁』をめぐり、中小企業や私どもの商品・サービスの有用性・社会的存在理由が今こそ問われるのではないのでしょうか。第二に3%アップというよりは、申告納税時の税額は一般的に、5%から8%へと1.6倍の税額となります。

滞納税額の中で消費税が多額を占める現状の中での『消費税預金』など資金対策の必要が更に高まります。第三として、これらを踏まえた上で『会計人の社会的使命』が改めて問われ、顧問先の理念や経営計画書の策定支援が一層重要性を増してきます。昨年の統一研修会、武安中国会会長はじめ会員、MJSの方々の多大なご労苦に感謝し、本年開催の私共へのご指導もよろしくお願いいたします。中部会としては、開催地では名古屋、東急ホテルを予定しております。都心であり、地下鉄の駅の近くと地の利に恵まれています。大会コンセプトを熟慮し、更に厳しくなる環境適応へのサポートとしての社会的使命を果たす起爆剤となればと思います。精一杯のお世話をさせていただきます。ぜひ、中部大会へのご参加をお待ちしております。



近畿会会長
林 伸三郎

新年おめでとうございます。

本年の最大の課題は、20年間続いたデフレ経済からの脱却です。

この他にも、人口減と少子高齢化社会が世界最速のスピードで進み、社会保障コストが嵩むこと、そして将来のエネルギー政策をどう方向づけるか等、むつかしい問題を抱えています。

さらには、日本経済の強みであった自動車、電機、といった製造業は新興国企業の台頭で国際競争力において劣勢に立っている等々、課題は山積しています。

唯一の救いと言える好材料としては、アベノミクスの効果で円安、株高が進み、穏やかな景気回復基調に向かっていることでしょう。

ただ、4月に導入される消費税の影響は、増税前の駆け込み需要の反動でマイナス成長に陥る可能性があり、これをどこで食い止めるかが安倍政権の手腕と言えそうです。

昨年末、総務委員会で議題にあった①連合会の収益事業、②連合会の委員会活動、③連合会の位置づけ、これらを本年の最重要テーマと位置づけ、現状のミロク会計人会を踏まえ、将来を見据え、英知を結集して『魅力ある会計人会』に向けた議論が始まる年にしたいと考えます。

各単位会会員諸兄のお知恵と、ご指導をいただきますようお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。



中国会会長
武安 紘二

全国のミロク会計人会の先生方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、第38回ミロク会計人会連合会全国統一研修会広島大会が開催され、全国各地から先生方のご来訪に心から感謝の意を表します。お蔭様で大盛会のうちに無事終了することができました。本大会テーマを『伝えよう。地方の力と情熱を！』と掲げて準備実行をいたしました。このテーマ、何も中国会の力を皆様に誇示しようなどというものではありません。38年間脈々と流れてきたミロク会計人会の歴史と伝統をしつかりと受け継ぎ、次なる50年100年に向けて伝えて行こう、つなげて行こうという心意気を示したものであります。この大会を機に私共はもつともつと研鑽を積み、MJSと会計人会が一体となって関与先企業のため、自己事務所の推進発展に共働しなければならぬと考えています。アベノミクス効果による日本経済景気の底上げが進んでいるとの発表がありますが、小零細企業にあっては一向にその効果は実体として何ら上昇気運はありません。この辺りが政治の課題であり、私共税理士の取り組み課題であらうと思います。今年1年、全国の先生方と手を携えて心身ともに元気で頑張っていきたいと思います。粗辞でございますが新年のご挨拶とさせていただきます。



四国会会長
松内 邦雄

ミロク会計人会の皆様、謹んで初春のお慶びを申し上げます。昨年はミロク会計人会の運営にご協力を賜りありがとうございました。さて、政権が変わり東日本大震災の復興・デフレ脱却など大きな課題がある中で、日本の将来を見据えて安倍内閣が掲げた経済政策の基本方針である大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間の投資を促す成長戦略が発表されました。その成長戦略を打つても、国民の家計所得や中小企業に対しての投資効果は厳しいと言わざるを得ません。リーマンショック以降の構造的なデフレからの脱却、景気回復を願って大きな期待を寄せましたが確かな手ごたえがわからない状態です。

四国に於いても現状は大型公共投資や消費税増税に関連する住宅投資中心の景況感発表では、大半の中小企業は依然厳しいと言わざるを得ません。昨年3月には金融円滑化法案が期限切れで廃止となり、8月には中小企業経営力強化支援法が施行されましたが、厳しい環境の中では活かされておらず各地で認定支援機関とされた税理士・公認会計士の責任と役割は非常に大きいと思われます。今後もミロク情報サービスと連携しながら税理士・公認会計士で構成されている会計人会の会員の皆様と共に顧問先企業の発展と繁栄を目指し、決意を新たに活動を推進していきたいと思っています。



九州会会長
船越 久人

新年明けましておめでとうございます。ミロク会計人会会員の皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、アベノミクスが叫ばれましたが、大企業はいざ知らず、我々中小企業にとっては、若干売上高は増加しましたが、繰越しの赤字を埋めるまではいかず、「気分だけは好景気」という状況でした。本年は、消費税が3%アップで8%になります。この消費税アップが景気はどう影響するのでしょうか。消費税増税を弾き飛ばして景気の歯車をぐんぐん回して好景気を作るように祈る気持ちです。また、相続税におきましては、基礎控除額の見直し、税率構造の見直しと、納税者にとって、はなはだ不利な相続税の改正が来年から施行されます。このように、消費税増税、相続税増税となりますと、我々税理士の働き如何によつて、税額にも大きな差が生じることになることでしょう。前もって相続税の対策をするか否かで大きく税額に差が生じます。また、消費税対策についても、知恵を出さなければなりません。何はともあれ、我々税理士に対する期待度は、増々大きくなるとともに、重要になると思います。期待に応えるためには、我々税理士は、日々研鑽して、税理士・事務所の能力を高める努力が必要となるでしょう。最後に、本年が、会員の皆様にとって、佳い年であることを祈念して新年のご挨拶いたします。



沖縄会会長
知花 直治

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに午の年をお迎えのこととお慶び申しあげます。昨年は、自民党安倍政権の下、アベノミクス効果が表れデフレ脱却・景気回復基調にあると報道されておりましたが、地方ではその実感はありませんでした。しかし、ゆっくりと波が押し寄せてきそうな期待感がありました。それに加え、2020年の夏季オリンピック・パラリンピックの東京開催決定は国民に大きな希望を抱かせてくれました。その波及効果は計り知れず五輪特需として全国民が享受できたら最高です。

沖縄県は昨年天候も良く観光客足が順調で観光関連企業を中心に幅広い業種で改善好転が見られました。継続して欲しいものです。

今年4月より消費税率がアップされます。その会計事務をスムーズに処理するためMJSシステムを活用して顧問先の要望に依っていきたいと思います。さらにMJS税経システム研究所と連携してタイムリーな認定研修、システム研修の実施に積極的に取り組んでまいります。

新しい年が会員の皆様にとりましてより良い一年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



連合会監事
北村 具頼

新たな年を迎えおめでとうございます。昨年、北陸の能登半島が「里山里海」として世界農業遺産に認定されました。日本では佐渡のトキ、静岡の茶草場、大分の循環型農法などと同様と聞いています。

近代農業が生産性を最優先に走り続けてきた結果、森林破壊や水質汚染といった地球環境への危機的な大問題を引き起こしています。人類の飽くなき欲望が母なる大地のみならず、動植物の生存さえ危うくしています。これらへの反省から平成14年に開始されたプロジェクトが世界農業遺産です。福島の原発問題を引き出すまでもなく、異常気象、大気汚染、海面上昇など枚挙に暇がないほどです。土の香しさを取り戻したいものです。

われわれ経済、経営に関係している者も決して無縁のことではなく、野の一輪に過ぎませんが、生死に関わる問題として「監査」しながら共に取り組んでいくべきことと、新年の所感にあげさせていただいた次第です。

あゝ頃の
土の匂いの
懐かしさ
幽犀子



連合会監事
鈴木 孝

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、安倍政権が誕生して1年足らずのうち、株価が大幅に上昇し、円安も加わり国内経済の明るさが見え始めた年でありました。これも安倍総理が打ち出した政策いわゆる3本の矢、①大胆な金融政策、②機動的な財政政策、③民間投資を喚起する成長戦略など、アベノミクス効果が表れた年でもありました。また、2020年には東京オリンピック・パラリンピック開催が決定するなど、経済への効果が期待された年でありました。今年、政府ではさらに地域に因って大胆な規制緩和策を打ち出す国家戦略特区を設け、法人税等の税率引き下げや免税策が具体的に打ち出される予定であります。当面2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催までの経済成長は期待が持てると思いますが、4月からは消費税の3%アップや国民に負担を求める各種税金が引き上げられ、過重な負担がかかっています。ミロク会計人会は中小企業の皆様が成長戦略に取り残されることのないよう、MJSシステムを活用し顧問先企業のさらなる発展のためサポートを続けてまいりたいと思います。

この新しい年が皆様にとりまして、良い年でありますようにご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

謹んで新年のご挨拶を申しあげます。



株式会社ミロク情報サービス
代表取締役社長

最高執行責任者

是枝 周樹

中小企業への景気回復の波及

昨年の日本経済は、安倍政権による経済財政政策を背景に、円安・株高が進むとともに、大企業を中心に企業収益が改善し、個人消費が高水準を維持するなど回復基調となりました。本年は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動が懸念されますが、新たな経済対策等による持続的な景気拡大が期待されます。また、2020年の東京オリンピックの開催は、日本に大きな経済効果をもたらすでしょう。

一方、この経済効果が一部の大企業に限らず、中小企業にどれだけ恩恵をもたらすことができるかが、本当の意味での力強い日本経済回復へのカギになると考えます。

中小企業支援ネットワークの広がり

依然として中小企業の経営環境が厳しいため、顧問先企業における先生方

への相談内容が多様化しています。会計や税務の領域を超えて、販路の拡大から業務の合理化、資金繰り、人材育成や労務問題に至るまで、その対応力が会計事務所問われています。

一昨年、「中小企業経営力強化支援法」が施行され、中小企業に対して専門性を生かした支援事業を行う経営革新等支援機関を認定する制度が創設されました。現在、多くの税理士・税理士法人が同支援機関として認定されています。今後は、地域の専門家や金融機関等と協力して、中小企業の多様な経営課題を解決するための支援ネットワークが広がります。そして、税理士先生の果たされるべき役割の重要性は一層高まりますので、当社も全社一丸となって支援してまいります。

MJSの新たな取り組み

昨年、当社は会計事務所向けの新たな支援事業の立ち上げ、また、クラウド

ド技術を生かした新製品・サービスの提供を行いました。

新たな支援事業として、会計事務所経営支援室を新設部門として立ち上げ、会計事務所の事業承継を多方面からサポートできる体制構築に取り組んでいます。今後さらに、所長先生のご要望にきめ細やかに対応し、将来を見据えた円滑な事業承継をご支援できるよう努めてまいります。

また、クラウド技術を活用し、利便性を高めたデータセンター対応の『ACCELINK NX-IP』や『ACCELINK インモジュール』や『ACCELINK NX 記帳くん』、そして、MJSにとって初めてとなる個人向けの無料のお金管理アプリ『マネトラ』シリーズを新しく開発・提供しました。クラウド技術は、間違いなく人々のライフスタイルを向上させ、ビジネスシーンにおける業務効率化を実現させる強力な基盤となります。これからも、クラウドを

はじめとするITを活用した画期的な製品・サービスの開発に真摯に取り組み、お客様の経営改善に貢献できるよう努めてまいります。

新しい価値創造に向けて

当社は、会計事務所の先生・職員の皆さまへのご支援を通して、顧問先企業の発展に貢献することを使命としています。これは決して変わることはありません。これは決して変わることのない当社の経営方針です。会計事務所がより一層、付加価値の高いサービスを顧問先企業に提供できるよう、先生方と更なる強固なパートナーシップを構築するとともに、より付加価値の高い製品・サービスを開発し、新しい価値を創造すべく邁進してまいります。

最後に、諸先生、職員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

「第38回 全国統一研修会・広島大会」開催報告

平成 25 年
11月7日(木)

「伝えよう。地方の力と情熱を！」を
テーマに開催され、
1057名が広島に集結!!



1.式典風景 2.壇上の連合会役員 3.来賓席と協賛会社席 4.(右から)司会の篠原敦子大会実行委員とアシスタントの桜井弘規氏 5.開会の挨拶をされる武安紘二大会実行委員長 6.単位会の表彰を受ける馬場英晶東京会会長 7.功労者表彰を受ける東京会の金井塚清前会長 8.功労者表彰を受ける四国会の藤本正義前会長

式典は、午後2時から篠原敦子大会実行委員とアシスタントの桜井弘規氏の司会の下、武安紘二大会実行委員長の挨拶により開会。

平川忠雄ミロク会計人会連合会会長による大会開催にあたってのご挨拶の後、麻生太郎財務大臣からの祝辞を林伸三郎副会長が代読披露。その後、来賓の松永明中小企業庁事業環境部長および原田啓吾中国税理士会会長からご祝辞をいただきました。

単位会表彰では、前回の「第37回全国統一研修会・東京大会」の実行を担当された東京ミロク会計人会が選ばれ、馬場英晶東京会会長が代表して表彰されました。功労者表彰では、このたび任期を終えられた東京会の金井塚清前会長と四国会の藤本正義前会長が表彰

11月7日(木)、広島市中区の「リーガロイヤルホテル広島」にて、ミロク会計人会連合会の一大イベントである「全国統一研修会・広島大会」が、盛大に開催されました。

ご祝辞 財務大臣 麻生 太郎 様

代読 林 伸三郎 連合会副会長

本日、ミロク会計人会連合会主催による第三十八回全国統一研修会が、広島県広島市において盛大に開催されるにあたり、心からお祝いを申し上げます。

皆様方におかれましては、独立した公正な立場から、納税者を支援して国民の納税義務の適



正な実現を図るという公共的使命を果たされる一方、納税の基礎となる記帳や会計処理をはじめ、商取引の面においても指導的な役割を果たすことで、国民経済の健全な発展と健全な国家財政の実現に寄与しておられることに對し、敬意と感謝の意を表するものであります。政府は、長引くデフレからの早期脱却と経済再生を最優先課題として、日本銀行による「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」からなる「三本の矢」を一体として強力に推進してきました。また、社会保障の財源確保と財政健全化を図る観点から、来年四月からの消費税率三パーセント引上げを予定通り実施することとしました。ミロク会計人会には、全国八千余名もの税理士・公認会計士の先生方が加入され、関与されている企業数は、全国五十万社強に上ると聞き及んでおります。先生方には、消費税率引上げに向けた対応に加え、全国の中小企業の皆様を元気にしていただくための取組を行っていただき、日本経済の発展のために引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

本年の全国統一研修会が実り多いものであることを期待しますとともに、貴業界の益々の御発展と、御参加の皆様方の御健勝をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

ご祝辞

中小企業庁事業環境部長 松永 明様



本日はお招きいただき、誠にありがとうございます。ミロク会計人会連合会の第38回全国統一研修会が、かくも盛大に開催されますことに、お祝い申し上げます。

日本経済は、第一の矢、第二の矢が功を奏して、ようやく長引いていましたデフレから抜け出す兆し、あるいは成長軌道へ回復していく兆しが出てきたように思います。しかし、地方や中小、小規模事業者の多くはまだそれを実感できないのが現状ではないでしょうか。政府としても、本年6月に日本再興戦略をとりまとめ、さらにこの成長戦略を実行、加速、強化していくために産業競争力強化法案を国会に提出しました。このように、成長の果実が地方や中小企業、小規模事業者の皆さまへと波及していくように全力で取り組んで参ります。一方、全国津々浦々の中小、小規模事業者に政策を届けるため、また成長していただくためには、やはり身近な支援者の存在が不可欠だと考えております。このような観点から、経営革新等支援機関という制度を設けさせていただきました。本年10月現在で約1万9000機関が認定されていますが、うち税理士・公認会計士と税理士法人で約1万5000機関、およそ9割を占めています。皆さまにおかれましては、税務のみならず中小、小規模事業者のまさに身近な相談相手として経営を支え、そして中小企業庁の政策を届けていただくという役割も含めて、今後一層のご活躍をお祈りしまして、挨拶の言葉に代えさせていただきます。

されました。

そして、協賛会社であるミロク情報サービスの是枝周樹代表取締役社長の挨拶の後、篠原実行委員による祝電披露と閉会の言葉で式典は終了となりました。

引き続き午後2時30分から行われた基調講演は、吉井利幸実行副委員長による開会の言葉でスタート。外交ジャーナリスト・作家であり、元NHKワシントン支局長の手嶋龍一氏より「アジア半島の時代を生き抜く」地方からの情報発信」をテーマにご講演いただき、村中時光実行委員の謝辞と閉会の言葉で幕を閉じました。

その後、午後4時30分からは3つの分科会が同時開催されました。

第1分科会は情報ネットワーク委員会が企画・運営しました。「これだけでも便利！ 気軽に使えるタブレット」もうアナログ税理士とは言わせない」をテーマに、久保且佳先生、糸数弘和先生、草野恒史先生、立花剛先生、榊忠輝先生、岡崎克郎先生、清水俊介先生、雪澤知之先生が登壇され、事務所業務改善についてご紹介しました。

第2分科会は、備前焼陶芸作家の藤原和氏に「備前焼と私」をテーマにご講演いただきました。平松壮介実行委

ご祝辞

中国税理士会会長 原田啓吾様



本日はお招きいただきありがとうございます。全国各地から大変多くの会員の皆さまが当地広島にご参集され、かくも盛大に大会が開催されましたことに、お祝い申し上げます。地元税理士会会員一同、心から歓迎を申し上げますとともに、平素からのご支援ご協力に對しまして、この場をお借りし厚く御礼を申し上げます。

さて、ご高承のとおり、4月から消費税が増税になることが決定しました。財務省による景気判断が5年9カ月ぶりに「回復」に引き上げられるなど、景気回復のすそ野が確実に広がってきたことが、この増税判断につながりました。しかし、新興国の成長鈍化による輸出の伸び悩みなど、懸念材料は依然としてあります。このような状況下、企業の健全かつ持続的な発展のため、適正な会計指導、経営指導に力を注いでおられますミロク会計人会に寄せられる期待は大変高くございます。今後も平素の業務を通じて、さらなる地域社会の発展に貢献されますことを強く念じるものであります。

現在、私も税理士会を取り巻く環境は、税理士法改正をはじめさまざまな課題が山積しております。中国税理士会では時代の要請、あるいは社会の変化に的確に対応して参る所存でございます。どうぞ引き続き、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。貴会のみならずのご発展を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

ミロク会計人会連合会会長 平川 忠雄



皆さま、全国各地よりお集まりいただき、誠にありがとうございます。第38回となるミロク会計人会連合会主催の全国統一研修会が、ここ広島で開催されます。

さて、本日お見えの税理士・公認会計士の先生方はご存じのことと思いますが、我々の業務におきまして、顧問先の税務と会計のみに携わればよいという時代ではなくなりつつあります。我々のお客様である中小、小規模事業者の多くが赤字経営に苦しんでいる今、やはり経営支援という問題に取り組んでいく必要があると思います。その意味において、経営革新等支援機関の認定を受けていただき、税理士・公認会計士がその一端を担う専門家であるという認知を高めることが、ひいては我々の業務拡大にもつながるのではないのでしょうか。積極的に「経営の協力者」という分野の開拓に取り組んでいただきますと幸いです。

本年10月には、与党税制調査会の税制改正大綱が出され、12月には政府案も出されます。新しい税制に向かい、皆さまとともに企業のために尽力していきたいと考えております。本日はお時間が許す限り、ゆつくりと基調講演や各分科会などをお聞かせいただければと思います。

本日はご参集いただき、誠にありがとうございました。

員の開会の言葉で始まり、最後は逢坂典久実行委員の謝辞と閉会の言葉で終了しました。

第3分科会は、プロ野球解説者の達川光男氏に「ネット裏の会計学」苦しみを笑いに変えた野球人生」をテーマにご講演いただきました。松葉秋水実行委員による開会の言葉に続き、武安実行委員長の講師紹介があり、最後は奥田正雄実行委員による謝辞と閉会の言葉で終了しました。

懇親パーティーは午後6時30分、広島県立五日市高等学校の書道部、通称「書道ガール」によるパフォーマンスで幕開け。書道ガールたちは壇上で、軽快に筆を動かして文字を書いていきます。そして出来上がった作品を客席に向け掲げると、そこには今大会のテーマ「伝えよう。地方の力と情熱を！」の文字が生き生きと踊る、見事な書がお目見え！

改めて司会の篠原実行委員が開会の挨拶をされた後、来賓の原田中国税理士会会長、分科会の講師を務められた備前焼陶芸作家の藤原氏、プロ野球解説者の達川氏を紹介。来賓を代表して原田中国税理士会会長にご挨拶いただき、続いて、達川氏のご発声で乾杯となりました。

しばしの歓談を挟み、次のアトラク

協賛会社挨拶

ミロク情報サービス代表取締役社長
是枝 周樹



本日は、ミロク会計人会連合会主催の、第38回全国統一研修会、広島大会において、多くの皆様方にお集まりいただきましたことに、心より深く御礼申し上げます。大会準備にあたられた中国会の諸先生方、ならびに、ご来賓の先生方にも、厚く御礼を申し上げます。

昨今、会計事務所業界におきましては、顧問先企業における先生方への相談内容が、一層、高度化、多様化しております。制度会計、税務会計の枠を超え、販路の拡大や人材教育、資産管理・運用、労務コンプライアンス、そして事業承継の相談まで、会計事務所に対して、経営全般に対する的確なアドバイスを経営者は求めています。

今後、税理士先生のご活躍の場が一層広がって参りますので、私たちが精一杯、ご支援し、先生方とともに、日本の中小企業を元気にしていきたい、と心から強く思う次第です。

当社は設立して37年目となりますが、先生方のご支援により、昨年、東証一部への上場を果たすことができました。これからも、企業理念や経営方針を変えることなく、継続的な企業価値向上を図ると共に、誠実な経営を行って参ります。

そして、ミロク会計人会と車の両輪のごとく協力し合い、会計事務所業界の発展、そして顧問先の中小企業を元気にできるよう、最大限のご支援をしてまいります。今後とも、ご指導・ご鞭撻くださいますよう、お願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

シヨンは「神楽」です。広島市佐伯区湯来町の大森八幡神社を氏神社とする百数十年の歴史を持つ大森神楽団は、「八岐大蛇」という演目を行い、太鼓や笛の音に合わせて大蛇が舞台や会場内を所せましと巨体をくねらせ動き回る驚きの演出を披露しました。

その後、最後のアトラクション「三原やっさ踊り」が行われました。広島

県東部の三原市を拠点とする「みたか連」の皆さんが元気にステージ上で躍動。最後は会場を巻き込んだ盛大なやっさ踊りが始まり、参加者全員でやっさ踊りに興じました。

全てのアトラクションを終えた後、ミロク情報サービスの是枝伸彦代表取締役会長より挨拶があり、続く次期大会へのお誘いでは、石川光男中部会会

長をはじめとする中部会の皆さまが舞台上上がり、「いっぺん名古屋にいやあせ！（二度名古屋にいらしてください）」というパネルを掲げ熱烈に次期大会への参加を呼びかけました。そして、最後に大本浩二実行委員の閉会の挨拶があり、懇親パーティは終了となりました。



10



11



9



14



12



13



17



16



15



18

9.懇親パーティの風景 10.懇親パーティは書道ガールたちによるパフォーマンスで幕開け 11.今大会のテーマが力強く表現された書 12.大森神楽団による神楽の模様。演目は「八岐大蛇」 13.みたか連が「三原やっさ踊り」を披露 14.最後は、参加者全員で「三原やっさ踊り」を楽しむ 15.懇親パーティの終盤、協賛会社挨拶をされたMJSの是枝伸彦会長 16.次期大会へのお誘いをされる石川光男中部会会長 17.閉会の挨拶をされる大本浩二実行委員 18.パネルを掲げ、熱烈に次期大会への参加を呼びかけ！

基調講演レポート

講演者

手嶋龍一 氏

てしま・りゅういち

外交ジャーナリスト・作家
元NHKワシントン支局長

NHKの政治部記者として首相官邸、外務省、自民党を担当。ワシントン特派員としてアメリカに赴任し、冷戦の終焉に立ち会う。湾岸戦争では最前線へ。その後、ハーバード大学CFIA・国際問題研究所に招聘される。続いてボン支局長を経てワシントン支局長を8年間にわたって務める。この間、ブッシュ大統領をはじめ、重要閣僚の単独インタビューを数多くこなした。2001年9.11の同時多発テロ事件に際しては、11日間の昼夜連続の中継放送を担い、冷静で的確な報告で視聴者の圧倒的な支持を得た。2005年NHKから独立し、日本で初めてのインテリジェンス小説『ウルトラ・ダラー』を発表。姉妹篇『スギハラ・ダラー』とあわせて50万部の大ヒットに。2013年9月、『宰相のインテリジェンス』（新潮文庫）を発表。2001年同時多発テロ事件から、2011年福島第一原発事故までの十年間を検証し、日米両国のリーダーシップの有りようを描いた。2013年12月には、佐藤優氏と尖閣問題を論じた『知の武装―救国のインテリジェンス―』が新潮新書として出版される。慶応義塾大学大学院教授として後進の指導にも積極的に関与している。



アジア半球の時代を生き抜く ～地方からの情報発信～

国際政局のキーワードとなっている「インテリジェンス」。これは一般的な情報を意味するのではなく、国家機密など重要事項に関する情報を意味しています。その重要性を説かれる手嶋龍一先生に、アジアを中心とした世界情勢について講演していただきました。

国際政局を映し出す鏡としてのオリンピック

ついに2020年東京で開催が決定したオリンピック。巷ではもっぱらその経済効果やインフラ整備などに関心が集まっていますが、手嶋先生はもっと国際的な視点から東アジアの中で日本を見つめなければならない、と指摘します。

「オリンピックは国際政局を映し出す鏡であると言えます。例えば、新興大国である中国は今や経済力を背景に軍事力を増強し、真剣に尖閣諸島を狙っています。日本でのオリンピック開催が決まったことで、慎重にならざるを得ないでしょう。平和の祭典といわれるオリンピックの主催国・日本の領土の一部である尖閣諸島を侵略することは、『平和の破壊者』という汚名を全世界へ向けて宣伝するようなもの

だからです」

手嶋先生のお話は、今回のオリンピック招致の半月ほど前に起こった未曾有の事態へと及びました。動乱の地・中東シリアにおいて、アサド政権が自国の反政府側勢力に神経ガスなどの化学兵器を使用したというのです。オバマ大統領は当初、もし化学兵器の使用が事実であれば、それは越えてはならない「レッドライン」であると断じながらも、軍事介入にはなお慎重な姿勢を見せました。その後、イギリスとフランスがアサド政権による攻撃と断定したことを受け、アメリカも追随して武力行使の体勢に。ところが、イギリスが下院の反対で攻撃参加を見送ったこと、国連決議の目処が立たず国民の反対も強いことなどを受け、オバマ大統領は議会に攻撃の承認を求める方針に転換したのです。それでも依然として武力行使も辞さないという構えは崩しませんでした。その足元がぐらついていることを、素早く察知した人物がいた」と、手嶋先生はロシアのプーチン大統領の名前を挙げました。

「彼には、断じてアメリカにシリアで武力行使させてはならないという差し迫った理由がありました。ソチでのオリンピック開催を半年ほど先に控えた状況で、もしシリアが大動乱に包まれてしまったら、その影響はただちにソ

チにまで及んでしまう。しかし、プーチン大統領にとってソチでのオリンピックは、なんとしても無事やり遂げねばならない、政権の威信をかけた戦いだった。故に、アメリカにはどうしても武力行使させてはならなかったのです。そこで、プーチン大統領は絶妙なタイミングでアサド政権にシリアの化学兵器の在処をすべて申告させ、それを国際機関の管理下に置く、という提案をした訳です。オバマ大統領はこれに飛びつき、議会側に採決の先延ばしを要請して外交解決の道を探る方針に再転換しました」

こうして、シリア化学兵器の国際管理に関する米ロ合意を受けて、アメリカによるシリア攻撃は当面回避されることになりました。戦争が回避されたのですから、当然誰もが「良かった」と心から思うことでしょう。しかし、「かつて冷戦時代にはたった一つの超大国といわれたアメリカが、今回『武力行使』という伝家の宝刀を抜くことができなかったことで、国際的にどのような影響が及んでしまうのか」ということを手嶋先生は強調します。事実、オバマ大統領の今回の対応に対する批判はアメリカ国内で高まっており、国際社会における威信低下を指摘する声も出ています。そして、その影響は東アジアにも及び始めているのです。

「例えば尖閣諸島について、アメリカ政府は日本の実効支配下にあると認識し、これを中国が侵犯する事態に至った場合は、安全保障条約に基づき日本側に立って武力行使する、という立場を明言しています。このことが、中国に対する抑止力となっている訳です。ところが、中国の強硬派の立場で先のシリア情勢について考えてみてくださいます。アメリカは威嚇はするが、いざとなると議会の承認を求めたり、前言を翻したり、他国と歩調を合わせたりと、結局は中国が尖閣諸島を奪取したとしても、日本のために軍事力は使わないのではないかという想像をしたとしても、何の不思議もないのです」

インテリジェンスを振り所に あらゆる分析と決断を

このように、インテリジェンスを通して国際政局を分析し、自国が進むべき針路を決断することは、今後の日本にとってより重要になります。そして、それはまた企業の経営指導にも相通じるものがある、と手嶋先生は主張します。

「奇しくもここ広島、そして長崎に原子爆弾を投下され、敗戦国になった我が国。この忘れてはならない経験から、日本は他国を威嚇・攻撃するような『牙』を持たないことを決意し、今日

に至ります。だからこそ、うさぎのような長い耳を持つことで遠くの異変にいち早く気づき、自らの身を守る手立てを講じることが重要なのです。国際政局を正しく分析し、決断・実行していく上で、インテリジェンスは今後ますます重要になるでしょう。また、この考え方は皆さまが平素行われている経営指導にも相通じるものがあります。例えば税務・会計の書類には数多くの数字やデータが記載されており、その中から重要な指標を選び出して企業の今後を予想することもそうです。そして時には、これらの数値データのみならず、経営者の人柄や事業に対する姿勢、従業員への接し方といった要因なども鑑みて初めて、その企業が持つ強みや潜在的な可能性といったダイヤモンドの原石に気づくこともあると思います。膨大な情報の中から選び抜かれたこの最後の一滴、これこそがインテリジェンスであり、企業が重要な経営判断をする上で欠かせないものです」

まさに国際政局から経済活動の現場にまで求められる、インテリジェンスによる分析と決断。手嶋先生はその重要性をこう表現されます。

「人間の身体には常に新鮮な血液が巡っていないといけないように、日本という国、そして皆さまの経済活動が健全であるためには、インテリジェン

スという血液を隅々にまで行き渡らせる『インテリジェンス・サイクル』を機能させることが必要です。翻って2011年3月11日、あの日の日本総理官邸では、果たしてこのインテリジェンス・サイクルは機能していたでしょうか。菅直人総理（当時）はインテリジェンスに基づいて何らかの決断をすることができたのでしょうか。政府の報告書では問題は菅総理の采配にあったとされていますが、そうではありません。罪はいかなる決断もしなかったことにあるのです。しかし、彼が決断できなかったのも仕方ありません。なぜなら、その拠り所となるインテリジェンスが何もなかったのですから。あの日、我が国はインテリジェンス・サイクルの重要性を、そしてその決定的な欠如という事実を突きつけられたのです」

そして、最後に「世界から尊敬されるような日本を作り上げていくために主体となるのは、決して政府ではない」と手嶋先生は強調されました。

「皆さまが指導している民間企業、そしてその民間企業が支えている経済こそが主役であると、私は信じて疑いません。その経済の健全な活動のために力を尽くしている皆さまに敬意を表し、この国の針路を今後も導いていただけるよう、お願い申し上げます」

第1分科会レポート

業務改善シリーズ第3弾

「これだけでも便利! 気軽に使えるタブレット
~もうアナログ税理士とは言わせない~」

近年、普及が進むタブレット端末を会計事務所の業務にどう生かすことができるのでしょうか。事務所における業務改善を推進する情報ネットワーク委員会の企画・運営により、今回はタブレットのさまざまな活用方法について紹介しました。

進行

糸数弘和先生(沖縄会)
草野恒史先生(九州会)

登壇者

久保且佳先生(北海道会)
立花剛先生(近畿会)
榊忠輝先生(四国会)
岡崎克郎先生(北陸会)
清水俊介先生(中国会)
雪澤知之先生(九州会)



登壇者の先生方



左より司会のMJS・神谷睦美、進行担当の草野恒史先生と糸数弘和先生

冒頭、サプライズゲストによるビデオメッセージが会場に流され、分科会がスタート。糸数先生、草野先生の両名が進行役として、登壇者の話を引き出しながら進められました。

さて、この業務改善シリーズは今回で3回目となります。立花先生は過去にも発表されましたね。

立花 2009年の鹿児島大会の時、ペーパーレス化の取り組みについてお話しさせていただきました。あれから4年、業務は効率的になり、事務所内もかなりすっきりしました。

榊 4年前の追跡取材として立花先生の事務所を訪問しましたが、ペーパーレス化によって事務所が良い方向に進んでいると感じました。

草野 ありがとうございます。さて、今回のテーマはタブレットについてです。今話題のツールですが、皆さんはどのようにお使いですか。

榊 外出先で、事務所のパソコンに届いたメールを見る時に重宝しています。立花 私はスケジュール管理に活用しています。私と税理士である息子が使っている事務所のパソコンとタブレット、計4台を連携させ、互いのスケジュールを確認したり、新規に確定した共通のポイントを入力するといった使い方をしています。

久保 事務所にFAXが届いたら、そ

れをデータ化してオンラインストレージに格納してもらい、どこから見られるようにしています。

岡崎 資産税関係の相談を受ける時は、タブレットで路線価を検索し、お客様にそれを見せながら話を進めます。

雪澤 私は、事務所に置いてあるパソコンを遠隔操作できる、MJSの『iCompassリモートPC2』を重宝しています。出先でこの機能が使えると、重い資料を常に携帯しなくても、見たくなった情報にタブレットでどこからでも簡単にアクセスできるので便利です。

立花 確かに、顧問先訪問や税務調査の時、重いファイルや元帳を持ち歩かなくていいのは助かりますね。

久保 カメラ機能も便利です。訪問先で持ち帰りたい資料があった時や、通帳を預かりたい時、その場でタブレットのカメラで撮影すれば済みます。

糸数 通帳をお借りしたものの、急ぎ翌日に返却しなければいけなくなったりすることがありますが、この方法ならそんなこともなくなりますね。

清水 私もペーパーレス化を推進し、タブレットを活用しています。最近は顧問から「すごいですね」と言われることもあります。中でも訪問時に忘れた資料を事務所の複合機からメールでタブレットに送ってもらう方法は感

心されましたね。

糸数 その機能はどうすれば使えるようになるのですか？

清水 私の事務所もそうでしたが、標準機能で付いている複合機も少なくないみたいです。一度設定すれば、FAXと同じ要領で資料を読み込ませるだけで、指定のメールアドレスにデータとして送られるのです。

岡崎 タブレットは事務所業務を効率化するだけでなく、コミュニケーションツールでもあると私は捉えています。例えばツイッターやフェイスブックといったSNSを利用している方は、出先で簡単に情報発信ができます。

雪澤 私はつい最近まで、超がつくほどのアナログ税理士でした。タブレットも購入後しばらくはうまく使いこなせませんでした。資料をその場で撮影して持ち帰ったり、『iCompassリモートPC2』の便利さを実感する中で、少しずつタブレットに慣れ親しんでいきました。今やタブレットは私の身体の一部、これがないと仕事になりません。まだお使いでない方は、ぜひ気軽にチャレンジしてみてください。

糸数 本分科会で、タブレットの便利さをご理解いただけたのではないのでしょうか。本日は誠にありがとうございました。(文中敬称略)

藤原和 氏

ふじわら・かず

備前焼陶芸作家・日本工芸会正会員

1958年、備前焼の人間国宝、藤原雄氏の長男として備前市穂浪に生まれる。明星大学修了後帰郷。同じ人間国宝であった祖父の啓氏・父の雄氏に師事し作陶を始める。90年、初窯を焚き、翌91年の岡山天満屋での初個展を皮切りに、日本橋高島屋など全国のデパートやギャラリー及び国内外での個展を毎年開催する傍ら、祖父や父の記念展などのプロデュースも行い、近年、今あらためて日本人の育んできた「日本の文化」や「縁」といった「日本の容」に対する想いを、陶芸のみならず多方面の活動を通して問いかけている



水や酒に良い影響を与える備前焼

備前焼は1300年以上の歴史を持ち、世界で唯一、一度も火を絶やしたことがない窯業地であるとされています。では、備前焼にはどのような特徴があるのでしょうか。

備前焼といえば「こげ茶色」という印象を持っている方も多いと思いますが、これは備前焼の製法によるものです。備前焼は、使用する粘土の収縮率が高く、耐火度が低いため、釉薬を使うことができず、高温で長時間かけて焼く「焼き締め」という方法で作られています。燃料には脂分の多い赤松を使うのですが、その際に粘土が赤松の灰を被ったり、煙にいぶされたりしてこげ茶色になっていくのです。また、焼き締めにより備前焼の器には水を腐りにくくしたり、酒を旨くするといった効能が生まれます。粘土をじっくりと焼き締めることで、遠赤外線を大量に放出するようになり、水や酒に良い影響を与えるのです。実際、焼酎などを備前焼の甕に入れておくと、自然とまろやかな風味になっていくはずです。備前焼には独特の模様もあります。その一つが緋襷（ひだすき）です。これは焼成の際に焼物同士がくっつかないように挟んでおくワラの跡で、直接炎が当たらない部分の鉄分がワラのアルカリ成分と

反応してできるようになっていきます。ちなみに窯の状態や焼き方、焼物の詰め方などによって、緋襷の色は赤、青、金、銀、黒といった具合に変化します。牡丹餅という模様も備前焼特有のもので、もともとは焼物同士が密着してしまっただけの跡が焼けムラとして残ったもののようですが、最近は焼物を窯入れする際に耐火度の高い粘土を乗せ、あえて模様を作ったりもします。

自然と女房には逆らうな

長い歴史を持ち、室町時代には全国各地の甕やすり鉢を供給するほどまでに成長していた備前焼ですが、豊臣秀吉の朝鮮出兵を境に徐々に勢いを失っていきましました。朝鮮半島から有田・唐津などの焼物の技術が持ち込まれ、備前焼の市場が縮小していったのです。そこで、当時の備前焼の職人たちは白色の白備前や絵付けを施した彩色備前などを開発し、この苦境を乗り切っていきましました。

そのようにさまざまな変遷を経てきた備前焼ですが、その工程には今も職人の技術と勘が必要とされます。ここからの説明は藤原家の土造りの工程となりますが、まず原料となる粘土は、掘り出した後に5年ほど外で乾燥させ、ストックしておきます。そして、ゴルフボールくらいの大きさに割って水槽

で溶かし、鉢に移してから半乾きにします。その後、それを手作業で細かくカットしながら、表面の砂を除去して純度の高い粘土にし、短いもので8カ月、長いもので40年以上かけて粘り強い粘土を作っていくのです。

もちろん、窯に火を入れる際にも技術と勘が必要になります。イメージ通りの焼物に仕上げるには窯の中の温度や湿度を極力、安定させなければならぬからです。とはいえ、いったん窯に火を入れたら13昼夜半は火を止めるわけにはいかなないので、その間は気候変化に注意しながら、窯の調子を微調整します。私の家には「自然と女房には逆らうな」という家訓がありますが（笑）、まさに自然の理に合わせて焼物を造ることが肝心なのです。

最後に私から皆さんにお願いします。それは日々の生活の中で焼物を使っていたきたいということです。よく高価な焼物をタンスの肥やしにしてしまっている方がいますが、それではまさに宝の持ち腐れです。日本人はその時々々の状況や季節などに応じて器を使い分けるといった素晴らしい文化を持っています。その文化、美意識を次世代に繋げるためにも、どうか出し惜しみせずに皆さまの暮らしのなかで、焼物を使っていただけだと思います。

懇親ゴルフ大会

参加者93名

11月8日、誕生から60年近い歴史を持つ「広島カンツリー倶楽部 西条コース」で、総勢93名の参加を得て懇親ゴルフ大会が開催されました。

同コースは、OBを可能な限りなくすること、ローカルルールの設定は極力避けること、変則的なスウィングを要求するホールのアップダウンはできるだけなくすること、という3つの方針に基づき設計されており、「ゴルフアートを苦しめるコースではなく、楽しませるコースを」という思いが込められています。

大会の結果は表の通りになりました。表彰式は、松葉秋水大会実行委員の司



1.秋のすがすがしい空気に包まれるコース 2.表彰式の模様 3.個人優勝のスピーチをする加藤敦司先生 4.単位会優勝のスピーチをする河本不二雄先生

【個人成績】

順位	氏名	グロス	HDCP	ネット
1位	加藤 敦司(中部会)	89	16.80	72.20
2位	松葉 秋水(中国会)	86	13.20	72.80
3位	澤田 和夫(近畿会)	89	15.60	73.40
4位	矢ヶ崎 清(関東信越会)	83	9.60	73.40
5位	河本 不二雄(中国会)	94	20.40	73.60
6位	岡村 雅裕(中部会)	80	6.00	74.00
7位	東岡 常二(中国会)	90	15.60	74.40
8位	鳥居 明郎(東北会)	88	13.20	74.80
9位	吉井 利幸(中国会)	94	19.20	74.80
10位	工藤 一康(北海道会)	100	25.20	74.80

【単位会対抗戦】

順位	単位会	ネット計
1位	中国会	220.8
2位	中部会	221.2
3位	近畿会	225.0
4位	関東信越会	225.2
5位	北海道会	230.6
6位	九州会	234.4
7位	沖縄会	234.8
8位	四国会	235.6

会でスタート。中畝將博大会実行委員の開会挨拶の後、武安紘二中国会会長がプレゼンターとなり賞品授与が行われました。単位会、個人の優勝者からスピーチをいただいたいき、中部会の三浦利勝先生の閉会の言葉で終了となりました。

記念旅行

参加者69名



今回の記念旅行は、11月8日から10日にかけて、山陰地方を巡る2泊3日の行程で開催されました。

1日目は世界遺産の石見銀山遺跡、60年ぶりの大遷宮を迎えた出雲大社、島根県立美術館から宍道湖に沈む夕日を堪能するコース。出雲大社では、中国会の先生のお口添えで、特別に正式参拝することができました。この日は松江市内の玉造温泉にある高級旅館、佳翠苑皆美に宿泊。

2日目は、松江堀川遊覧船で堀川めぐりを楽しみ、小泉八雲記念館・旧居、武家屋敷を見学した後、松江城を観光。昼食後には足立美術館へ向かい、専門誌で10年連続日本一に選ばれた美しい日本庭園を鑑賞しました。この日は大山口イタルホテルに宿泊。

最終日はNHKドラマによって人気が高まった水木しげるロードと水木しげる記念館を見学し、続いて境港水産物直売センターへ。その後、岡山へ移動し、岡山空港および岡山駅で散開となりました。



1.石見銀山遺跡を散策 2.大勢の人で賑わう出雲大社 3.宍道湖に沈む夕日 4.玉造温泉の佳翠苑皆美 5.堀川めぐりの模様 6.松江のシンボル、松江城 7.日本庭園が美しい足立美術館 8.妖怪ブロンズ象が並ぶ水木しげるロード 9.原画の展示などがある水木しげる記念館



会 計 人 の リレーエッセイ

東京ミロク会計人会 馬場 英晶 (東京都千代田区)

フリーな旅行の楽しみ

私たち夫婦は、旅行に行くことが何より大好きです。

出掛ける季節は、春・夏・秋です。国内旅行が中心であって、1回の旅行日数は、1週間から10日間位、のんびりとした旅行をしています。

もっぱら、車で移動します。トランクに詰めるだけの荷物を積んで。車は、時間に追われることもないので、好きな時に好きな所へと自由に行動が取れて、とても便利です。車の運転は、私と妻とで

交代しながら行くので、道中、疲れることもなく快適に目的地へ行けます。

旅先では、地域の名所、古跡、温泉、食事などを楽しみに、期待しながら車を走らせています。目的地に着いたら、まず温泉です。大自然にどっぷりとつかり、趣向様々な風呂を楽しみます。特に、露天風呂は最高です。周りの大自然に抱かれながら四季の移ろいをまさに肌で感じる事ができ、心の中からリフレッシュできます。

また、歴史を感じ、悠久の想いに浸る時の楽しみもあります。旅先で、たとえ1日や2日の短い滞在でも、また、初めて訪れる土地でも、定番の観光スポットや美味しい物は逃



飛騨高山を訪れた際の一枚

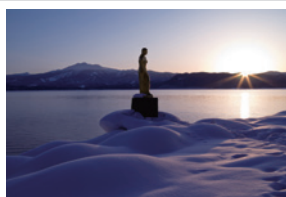
さず、できるだけ体験するようにいつも心掛けています。

旅は、人の心を癒し、感動を与えてくれます。また、好奇心を持って臨むので知識を増やしてもくれます。何度訪れても、また行きたくなる旅先もあります。奈良、京都などは、まさにそうです。

私の事務所は、現在、二人の息子が後継者となつて仕事をしてくれています。

やっと自由な時間が取れるようになったので、これからの人生を妻と楽しく旅行を続けられるように健康に気を付けていきたいものです。

表紙の写真



「初日が照らす田沢湖畔のたつこ像」(秋田県仙北市)

瑠璃色の湖面が特徴の田沢湖は、周囲約20キロメートル

のほぼ円形の湖です。水深は423.4メートルと、日本一の深さを誇っています。その湖畔に佇んでいるのが、たつこ像。永遠の若さと美貌を願い、湖神となったと伝えられる伝説の美少女たつこ姫のブロンズ像です。初日に照らされるたつこ像は美しく、雪に覆われた田沢湖をより神秘的なものにしています。

月刊 税理士事務所 Channel

通巻389号

- 発行 株式会社ミロク情報サービス
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-29-1
TEL. 03-5361-6309 (広報・IRチーム)
- 発行人 是枝 周樹
- 編集企画 ミロク会計人会連合会広報委員会
ミロク会計人会事務局、広報・IRチーム
- 配信制作 東方通信社
- 印刷 株式会社シナノ
- 購読申込 株式会社ミロク情報サービス
- 禁無断転載

※本誌に掲載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

進化する明日へ Continue thinking

I-O DATA

オフィスのデータを守る・活用する

Network Attached Storage | ランディスク

LAN DISK
XR
HDL-XRW シリーズ

データの安全性を追求した

RAID 6対応NAS

※お客様のデータを保証するものではありません



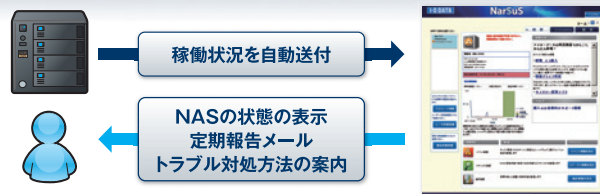
2TB	HDL-XR2.0W	4TB	HDL-XR4.0W
8TB	HDL-XR8.0W	12TB	HDL-XR12TW

注目機能 1

専任の管理者が居なくも楽々管理

NASの稼働状態を自動的に収集し、WEBブラウザ上で視覚的に把握可能なクラウド状態管理サービス「NarSuS」が無料で利用可能。管理者の負担軽減はもちろん、万が一障害が発生した場合も対処方法がNarSuS上で案内されるので専門知識の無い方でも安心して運用できます。

NarSuS
サービス
イメージ



注目機能 2

ハードディスクの障害からデータを守る

RAID 6 リビルド中のHDD故障でもデータを失わない「RAID 6」に対応。任意の2台のハードディスクが同時または立て続けに故障した場合でもデータの損失を防ぐことができます。



RAID 6だと



2台のハードディスクが同時に故障した場合も復旧可能です。

注目機能 3

外付ハードディスクによる柔軟なバックアップ

□ ファイル、ユーザー設定丸ごとバックアップできる「eSATAミラーリング」

eSATA接続
ハードディスクを増設



万が一、LAN DISKのハードディスクが全て故障した場合でもデータを戻すことができます。



対応eSATA接続ハードディスク

eSATA&USB 2.0/1.1対応
外付型ハードディスク
RHDカートリッジディスク採用
RHD-UX シリーズ



●I-O DATA®およびI-O DATA®のロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。●その他、一般に会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。●本商品の外観・仕様は予告なく変更することがあります。

●商品の色合いは、撮影・印刷の仕上り、実物とは多少異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

www.iodata.jp

商品選びで悩んだら!
インフォメーションデスク

TEL.0120-777-618 月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:00
※おかけ間違いのないようお願い致します。 ※携帯・PHS・IP電話からもご利用いただけます。